

## 第14回（番外編）アキラ君、お伊勢参りをする



こんにちは皆さん、新人編集員のアキラです。いきなりですが、なんて日だ！コロナが峠を越えませんか。コロナ禍の2回目の緊急事態宣言が出ていますし、また年中で最も寒いシーズン突入ですから、私はステイホームの継続中（FT8をポチっポチっとしています）です。本日はお伊勢さんがテーマですが、コロナが落ち着きましたら参拝をされるのも宜しいか（DXがもっと飛ぶようになるかも）と、楽しい道中のお話しを紹介します。どうぞご覧ください。

皆さんは“お伊勢さん参り”をされたことがあるでしょうか？大阪/関西の小学生は修学旅行の行き先でお参りした人が多いと思います（ずーっと以前のことですが私もそうでした）。でもその時の夫婦岩やお伊勢さんの記憶はおぼろげであり、大人になってから、お参りのありがたみや、おかげ横丁のうまいものの味を再認識したのではと思います。

2000年前の昔から私たちを見守ってくださっている“お伊勢さん”は、その昔の江戸時代頃には奉公人などが主人に無断で、または子供が親に無断で参詣した、お蔭参り（おかげまいり）、お蔭詣（おかげもうで）ということもあったそうで、また抜け参りとも呼ばれ、大金を持たなくても信心の旅ということで沿道の施しを受けることができた時期でもあったらしいですね。

「一生に一度でいいから、伊勢神宮に行ってみたい」そんな強い思いから自分の犬に代理でお参りに行ってもらう話が「おかげ犬」です。飼い主は、犬の首にしめ縄などでお金を入れた袋をぶら下げて送り出します。このおかげ犬を見た人はエサを与えたり宿泊させてあげたり、大切にお世話をしたそうです。賢い犬は伊勢神宮を目指して旅をし、そしてお参りをして無事に帰宅。首にお参りの証としてお札がついている、という奇跡のようなお話があったり、上方落語で伊勢参宮神の賑わいなどの演目で語られたりとか、ほっこりとしたお話はたくさんありますね。

さてさて、本号公開日の2月1日とか毎月の1日は少し特別な日で、お伊勢さん参りをしますと、お朔日参り（おついたちまいり）ということになります。お伊勢さんも、また内宮前で宇治橋から五十鈴川に沿って続く800mのおはらい町/おかげ横丁や、外宮参道の周辺にあるお店の方々も、本当に朝早くからお参りする人々を暖かく受け入れてくださいます。私、アキラもお朔日参りに、寒ーい中を出かけました。

前日は夜の8時過ぎに就寝しまして、翌日の午前0時に目覚まし時計の音で起きます。深夜/早朝の0時30分には自宅より車で出発です（しかしほんとに寒いです）。西名阪自動車道で奈良の天理を經由しまして、国道25号線、伊勢自動車道にのり、伊勢西というところで降りて案内板を目印にさらに数キロを進み、午前3時過ぎに内宮前駐車場A1に止めます。ここは内宮/宇治橋の目の前の駐車場です、日によると思いますが、お朔日には午前4時になれば満車になります。もちろん他にもたくさんの駐車場がありまして、まだまだ大丈夫なのですが、駐車場A1は言うなればポールポジション的な場所ですよとあります。でも夜明け前でお外はまだ真っ暗です。（ちなみに内宮の駐車場は時間制有料で、外宮の駐車場は参拝客2時間まで無料です。）

内宮案内板(宇治橋の手前にあります)



外宮案内板(衛士見張り所横)



アキラがお朔日参りしましたのは昨年2020年の2月1日(土)でちょうど1年前ですね。そしてまったく同じ時間帯/行程で11月1日(日)にもお参りしています。いずれも

外宮→内宮とお参りするの正しい順ですが、本日は内宮から、参拝時間は午前5時～午後6時

も朝3時過ぎに到着で、衣服は冬仕様のダウンのコートを着ていました。この時間帯にもかかわらず外にはすでに多くの参拝の方がおられます。さすがにお伊勢さんですね。

アキラがお朔日参りしたのは昨年2020年の2月1日(土)でちょうど1年前ですね。そしてまったく同じ時間帯/行程で11月1日(日)にもお参りしています。いずれも朝3時過ぎに到着で、衣服は冬仕様のダウンのコートを着ていました。この時間帯にもかかわらず外にはすでに多くの参拝の方がおられます。さすがにお伊勢さんですね。

“お伊勢さん”あるいは“大神宮さん”と呼ばれています伊勢神宮は、正式には二文字で“神宮”という名称です。内宮は皇室の御祖先で、太陽にたとえられます天照大御神(あまてらすおおみかみ)さまをお祭りして約2000年の歴史があります。外宮は天照大御神さまのお食事を司り、産業の守り神である豊受大御神(とよけのおおみかみ)さまをお祭りし、約1500年の歴史があります。

お伊勢さんは、内宮と外宮を正宮(しょうぐう)といいますが、別宮(べつぐう)14社と、摂社(せっしゃ)、末社(まつしゃ)、所管社(しょかんしゃ)で109社あり、全部で125社の神社より成り立っています。すごい!! 圧巻ですね。

もちろん、お朔日参りにきたのは神宮に感謝の参拝がメインの目的ですね、こぼん。でもね、参拝客を早朝から(多分徹夜で準備かなあ)おもてなしのために、お店を開けて待ってくださっているのですよ。参拝時間は午前5時からなので、せっかくのおもてなしをお受けしないわけにはまいりませんよね。とい

おはらい町/おかげ横丁のお店の案内絵図(観光案内所やお店でももらえます) 内宮/外宮の案内地図と方位が異なる



内宮の駐車場A1より徒歩で5分くらい、目的のお店のすし久(朝粥)、赤福本店に向かう。

うことで私はお朔日参りの日は内宮よりお参りさせていただくことにし、参拝時間前におはらい町に行きました。

通いなれた、おはらい町に向かいますが、本日が初めてのお朔日参りでした（正確にはいつだったかのお正月の早い目の朝に来たこともありましたが、当然とんでもない参拝者でした）。さすがはお伊勢さんのお朔日参りで、相当にたくさん



内宮前を通りおはらい町を進む、人ぞろぞろ



まだ朝4時前やけど、ええ匂いが、

の人がお参りに来ていますねえ。皆さんお目当てのお店があるようですが、近所の方で自転車で来ている人もちらほらです。すごいー。

おかげ横丁に到着しました。あー、すし久(すしきゅう)の朝熊小菜粥(あさまこながゆ)の長い行列だー。道向かいの赤福本店もすでに多くの人でかきです。まずはすし久の列に並びます。お伊勢さんではお朔日に朝粥

を出されるお店がいくつもあるようですが、すべてを頂くには何回来たらよいのでしょうか？4時半過ぎにお店があいて、1回目の番で入ることができました(からだは芯まで冷えていました)。



おかげ横丁に到着、お店の灯りがこうこうと！



向かいの店に凄い行列が、あー並ばないと

2020年2月1日の「すし久」の「朝熊小菜粥」、おいしいお粥とバランスのよい小皿/小鉢 あ〜ごちそうさまでした。



寒い中をマナーよく待つお客の列



出汁巻きたまごも絶品

お粥をいただく醍醐味は、コンサートに行くとかかる臨場感みたいで、皆さんが早朝より並らばれる気持ちと、

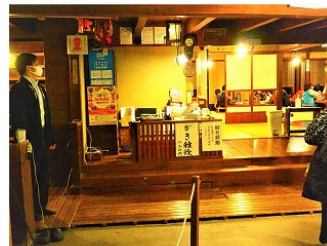
2020年11月の「すし久」の超込み具合



やっとお店が開いて順番が一、



入り口を通過



食券を買ってお店に上がります

お店の方達のおもてなしの心が感じられます。おいしかったー、ごちそうさまです。下は続けて11月の超人気の「かき雑炊」の様子です。

この11月1日は私も、まわりの皆さんもおどろく長蛇の列が五十鈴川沿いまでぐるっと行って、お店の開店前に本日売り切れのアナウンスが出ました。私は列の真ん中でしたが、食べられたのは朝5時をだいぶまわっていました。

これは2020年11月1日の「すし久」の「かき雑炊」、すごい人気で何百人も並んで、開店前の朝4時過ぎに売切れコール



この日は長蛇の列、お店の人が人数カウント

一杯ずつ丁寧に入れられる雑炊

バランスの良いお膳

さて、次も絶対にはずせない銘店の「赤福」、私の個人的感想ですが世界一のお餅と 생각합니다。赤福も朔日餅という名物がありまして毎月のおもてなしで、同じ朔日餅は年に一回しか食べられません。2月度の引換券は朝の4時

### 早朝の赤福本店



店のまわりの人だらかり

店の向かいで引換券をもらう

朔日餅引き換え券

45分引き換え分で、そのころは朝粥をいただいで、お土産への朔日餅はゲットできずでした。

その2月の朔日餅は、お店では頂けました。ちなみに11月の朔日餅はすべて完売でした。11月1日は、コロナ禍対策もあちこちでなされていきましたが、それでもすごい!

赤福本店のおもてなし、2月の朔日餅



↑ 同じ時間帯に行っても、11月の朔日餅は完売でした。赤福餅とぜんざいをいただく。



食べ終わった頃、お日様も上がってきました

えっ、いつまで食べてんのやー! てっ? そうですね日も上がってきたのでお参りに行きましょう。おはらい町より徒歩で内宮へ向かいます。

### 内宮参拝へ、



内宮、宇治橋は右側通行です



宇治橋より五十鈴川を見る



プラタモリで有名になった撮影場所

内宮宇治橋の鳥居におじぎをして、五十鈴川を渡ります。凛とした空気になり神の領域に入ったと感じます。

しばし空気浴をしながら参道を進みます。



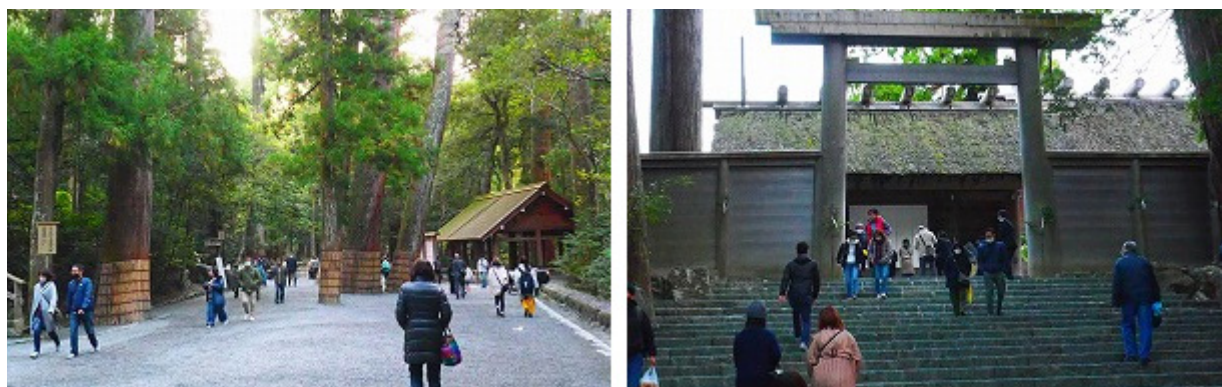
宇治橋を渡り右方向へ内宮に向かう 11月時点では柄杓なし、シャワー水に 本式は五十鈴川で手を清める

手を清める柄杓が2月にはありましたが11月時点ではなく、お清めの水がシャワーのような設備に変わりコロナ禍を感じます。すぐ先の五十鈴川の川辺で手を清めます。



いくつかの鳥居をおじぎして通ります ここは菜館といい御朱印をもらったり、 神楽殿です

神楽殿をすぎると忌火屋殿(いみびやでん)という神様の台所前をとおり、内宮に到着。



内宮の中は写真撮影ができません。中に進み参拝の列にならびます。二礼二拍手一拝で日々の感謝をして下がります。内宮、外宮の正宮では正しい参拝方法がありまして「個人的なお願い事禁止」「お賽銭禁止」というのがあります。またおみくじもありません、参拝するだけでもう大吉ですよということです。

お願い事は別宮で行いましょう、お賽銭箱も設置されています。まもなく日の出でずいぶん明るくなってきました。



内宮にある別宮にもお参り

帰り道に向かいます

宇治橋まで戻ると外に多くの人が

小一時間ほどで内宮の参拝をしまして宇治橋まで戻ってきました。橋の向こうにカメラを持った多くの人がおられますねえ？ 为什么呢、なるほど一、宇治橋の鳥居の上からあがるご来光をカメラに収めたい人々でした。

お伊勢さんに来てから随分と時間が経ちましたが、まだ朝のはやい目の時間帯です。内宮 A1 駐車場を出て、車移動で 10 分足らずの距離にあります外宮の駐車場に入ります。多くの参拝の車がありますが、空きスペースを見つけて駐車し、外宮参拝へ。

内宮の橋は右側通行ですが外宮の橋は左側通行です、理由は知りませんがおもしろいと思います。外宮も 2 月と 11 月では手のお清めの設備に同じく変化がありました。

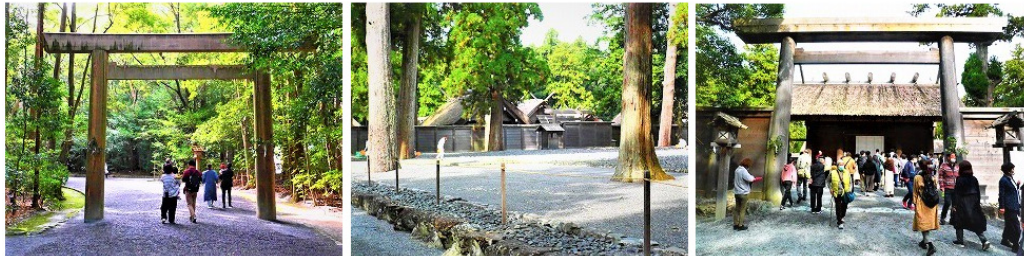
外宮参拝へ、



外宮に到着、ここは左側通行 ここでもお清めの水はシャワー式 運よく神馬のお出迎え対面

神馬「えみとも号」

凜とした空気を感じられるのは内宮も外宮も同じですが、外宮はすこしほんわかとした感じがします、理由はあとで説明します。外宮も参拝方法にのっとりまして、感謝の気持ちを持って参拝しました。



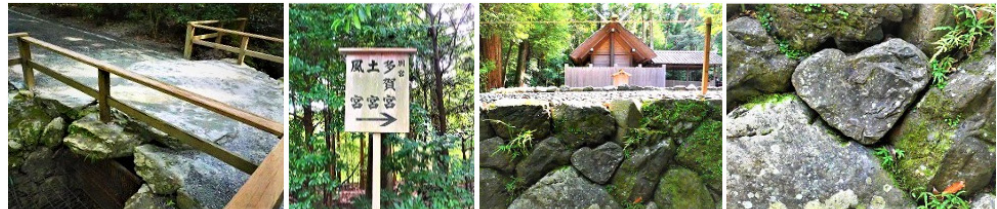
内側の鳥居をおぎざしてとおります

手前敷地は遷宮の場所、奥が外宮

外宮の正面、撮影はここまで

外宮には別宮が 4 つありますが、いくつかのパワースポットと呼ばれるものがあります。別宮に向かって「亀石」という橋があります。伝えによれば三重県の横穴式古墳「高倉山古墳」の入り口の石だったという話がありますが、最近

は木製の橋の手すりがあり、亀の頭にささっているようで、私はちょっと?? と思いました。橋なので人の安全優先なのではないでしょうか？



別宮に向かう石橋「亀石」

外宮・別宮 風宮の土台に

自然石のハートの石!

まっパワー亀ですね。亀の橋を渡ると風宮がありますが土台のところに、これも有名なハート型の石(自然石)があり、カップルとかがこの石の前でパチリと撮影されています。外宮は 30 分ほどでぐるっとまわることができます。

外宮の入り口にもどってきました。参道の左側には「せんぐう館」という建物があり、式年遷宮の様子などが展示されていますが以前にいったことがあり本日はスルーです。外宮の北御門から西およそ 300m の距離にある 4 つめの別宮、月夜見宮にむかいます。神路通という道が続きますが、伊勢と書かれたマンホールがあり、



外宮→別宮/マンホール

(豊受大神宮)外宮の別宮 月夜見宮

伊勢市駅 近鉄/JR東海

また神が通られるという道の真ん中は舗装の色が違います。平民の私は道の端を進みますよ。

月夜見宮には天照大御神の弟君といわれる月夜見尊(つきよみのみこと)が祀られています。さて、これで今回のお伊勢参りは終了です。ここから伊勢市駅はすぐ近くで近鉄とJRが乗り入れています。鉄道で参拝される方の玄関口はこちらになります。



伊勢市駅より見る外宮参道

名物 へんぱ餅(これもおいしい)

これも有名な豚捨のコロツケ

伊勢市駅より外宮参道を名物の立ち食いをしながら(なんぼほど食べるんやー)、外宮の駐車場に戻りますが、ちょうどお昼の12時過ぎ頃になりました。大吉をいっぱいいただけたと思います。ゆっくりと帰路に着きます。夕方の早い時間帯に自宅到着です。個人的な思いですが、時間は掛かるでしょうが12か月全ての種類の朔日餅をいつの日かには食したいものです、残10種類です。AJDみたいですが、朔日餅制覇の難易度は高いです。もっとも百貨店で予約して朔日餅をゲットする方法もあるようですが、大吉はやはりお伊勢さんでいただきたいと思います。えーっ肥えるでーって、運動しよっ。

### ●あしがき

朔日粥が癖になったかな?、ネットを見ていると東京/関東方面から伊勢神宮・朔日参りバスツアーというのがあり、そういえば観光バスで来ていた人がいたようですね。ネットツアーには、女性ひとり参加の方も多かったので安心してお申し込みくださいと書いてあります。YouTubeでの一人旅ブログみたいなのも増えていますよね。

1300年にわたり繰り返されてきた式年遷宮は、20年に一度造り替えられるご社殿で、永遠に変わらないお祭りが行われることに大きな意義があり平成25年に62回目が古式のままに行われTVとかでも大きくとりあげられました。次回の63回は2033年ですが、そのころまでにはアパマン族としてDXCCオーナーロールになっていたと思います。

最後までお読みいただきありがとうございます。では、また次回お会いしましょう。